

Red Cross Kyoto

赤十字 きょうと

2021
7月号



青少年赤十字事業の歴史(全国で初めて京都で開催された、赤十字の夏季児童保養所事業の写真(大正3(1914)年8月・天橋立))

救うを託されている。

人間を救うのは、人間だ。

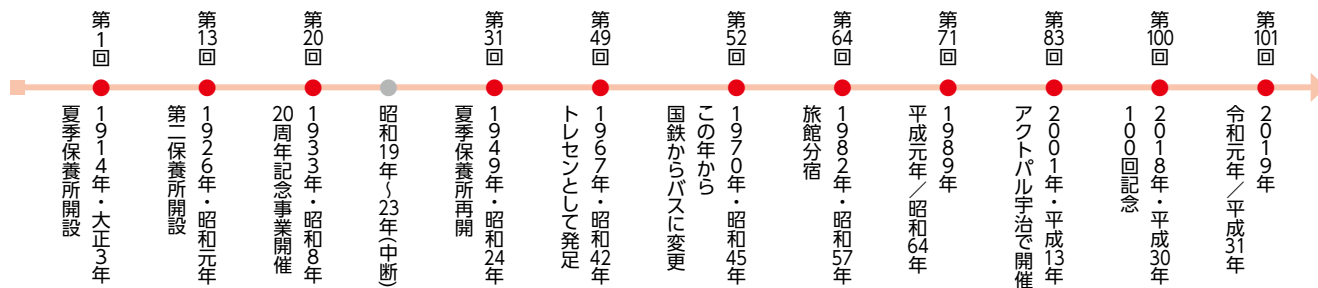


日本赤十字社 京都府支部
Japanese Red Cross Society

リーダーシップ・トレーニング・センター（トレセン）のご紹介

リーダーシップ・トレーニング・センターとは、夏休み中に府内各地の小学校4年生から高校生までの児童、生徒が参加し、宿泊研修を通して青少年赤十字の“こころ”と“リーダーとしての資質”を学ぶプログラムです。京都府支部では、大正3(1914)年8月に結核予防事業として夏季児童保養所を開設し、昭和42(1967)年の第49回に「トレセン」として発足、平成13(2001)年に開催場所を天橋立から宇治に移しつつ、平成30年8月には記念すべき100回目の開催を迎えました。

京都府におけるリーダーシップ・トレーニング・センターのあゆみ



阿蘇尋常高等小学校での記念撮影
(第1回 大正3(1914)年)



お楽しみ会の様子
(第73回 平成3(1991)年)



メインホールでの集合
(第100回 令和元(2019)年)

薄い子どもたちが多いと思います。その中でトレセンが果たす役割はありますか？

トレセンのプログラムには、小学生を中学生が、中学生を高校生がサポートする、そういった役割分担が根底にあるのですが、これを小学校の1学年だけでやろうとするのは難しいし、参加者がそれぞれの役割を果たす中で気づきを得ることで、視野を広げることができるとは思っています。

各年代で継続して参加することで、違った気づきを得られるんですね。

トレセンのプログラム自体は毎年それほど変わりませんが、続けて参加することで、新たな気づきを得ることができ、成長の実感に繋がると思います。ですから、トレセンは一回参加したら良いものではなく、継続して参加してもらうことが大切だと考えています。

■赤十字への思い

赤十字に伝えたい思いはありますか？

「赤十字は折角良いことをしているのに、あまり知られていないのがもったいないと感じています。アピールが下手だと思っんですよ。日赤全体としてもっと表に出る舞台があれば良いのになと思います。赤十字思想の理解者を増やすのであれば、もっと堂々として良いんじゃないでしょうか。」

私が最近、指導講師として皆さんに伝えていることなのですが、SDGsと

日赤の七原則や九つの事業って、重なっているところも多いんです。でも、赤十字は今に始まったものではなく、昔からずっとあり続けて、今の形がありますよね。

今の社会が必要としているSDGsと同じことをずっとやってきた赤十字は、これからも社会に必要な存在なんですよ。

青少年赤十字が百周年を迎えます。今後の展望を聞かせてください。

「赤十字の若いファンがもっと増えてほしいですね。JRCの経験を生かして、赤十字の精神をもって社会で活躍してくれるような、そして困ったときには、その精神に立ち返って考え、行動できるような人を増やしていきたいと思っています。」

そして、赤十字がもっと社会に受け入れられ、当たり前のものになってほしいですね。病院や献血だけでなく、赤十字の人道の精神を基本として、皆が人に思いやりをもって、想像力を持って接することができる世界になれば良いなと思います。

本日はお忙しい中ありがとうございました。

宮本さん、お話を聞かせていただきありがとうございました！



赤十字の若いファンが もっと増えてほしいですね。



「JRC加盟校が増えたら良いのですが、指導者の先生に頼っている部分があるので、難しいですね。最近では、高校生はJRC加盟校でなければトレセンに参加できなくなっていて、活動のすそ野を広げるという意味ですごく残念に感じます。ずっとトレセンに参加して、赤十字やトレセンが大好きな子たちが、高校生になった途端、自分の進学した学校に部活が無いというだけで参加できないというのは、すごく心苦しく思っています。将来きっと赤十字の良い担い手になってくれるであろう子たちとの縁が無くなってしまいうわけですから。」

継続的に参加して下さっている方に向けた対応が必要かもしれませんね。

「継続参加されている子たちの参加枠が設けられたりしたのですが、キャパシティの問題もあり、高校生はJRC加盟校の方のみ受け入れることになったんです。私みたいにJRCの為だけに進学できる人ばかりではないから、活動したい子があれば、積極的にアプローチしていく必要があると思います。」

トレセンは二泊三日の日程が定番でしたが、新型コロナウイルスの関係もあり、日帰りでの実施が検討されました。宮本さんとしては、やはり宿泊で実施したほうが良いと思われませんか？

「子どもたちにとってはその方が良いんじゃないかと思います。」

今は昔と違って、学年の縦の繋がりが

interview

日本赤十字社京都府支部 指導講師

宮本 佳蓮 さん(27)

日本赤十字社京都府支部では、大正3年の夏、日本三景の一つである「天橋立」で、全国に先駆けて結核予防事業として夏季児童保養所事業を開始。「青少年赤十字 リーダーシップ・トレーニング・センター」へと引きつがれ、100回目を数えました。

日本赤十字社の青少年赤十字事業は来年で100周年を迎えます。青少年赤十字で最も特徴のある教育プログラムである「トレセン」に小学生から参加し、高校生では京都のJRC活動(青少年赤十字・Junior Red Cross)の中心メンバーに、現在では当支部の指導講師として赤十字活動に熱心に取り組んでいる宮本佳蓮さんにお話を伺いました。

■「トレセン」の出会

宮本さんは子供の時からトレセンに熱心に参加されてきました。なぜトレセンに参加しようと思ったのですか？

―元々野外活動が好きで、小学校四年生の時に学校で配られたチラシを見てキャンプみたいなものと思って参加しました。当時は赤十字のことは全く知らずに参加していましたね。

小学校四年生というと、最年少での参加ですね。親元から離れて参加するのは大変だったのでは？

―親から離れることには慣れていたので、特に問題はありませんでした。近鉄向島駅に集合して、みんなでバスに乗って現地へ行くことになっていたのですが、不安は無かったです。当時は小学生と中学生が二泊三日、高校生は三泊四日だったので、最終日に横断幕を持ってお見送りをしてくれた高校生の皆さんが、すごく大人に見えたのを覚えています。

それからはずっと参加されているのですか？

―そうです。小学校四年から六年、中学校三年間、高校三年間は全て参加、大学時代は授業や部活があったので、

途中で抜けて、また戻ってきたりしていました。社会人になってからも、休みを調整したりしながらできる限り参加しています。

なぜ参加を続けたのですか？

―トレセンで出会った友達ともう一度会いたい、という思いが強かったんです。三日間の体験がすごく楽しかったし、翌年も友達やスタッフさんと会って、一緒に活動したいと強く思いました。トレセン愛がすごくて、私の中では、一年はトレセンに始まりトレセンに終わる、くらいの一イベントだったんですよ。

参加を続ける中で、トレセンや赤十字に対する思いに変化はありましたか？

―参加を続ける中で、国際人道法とか、地雷の廃絶とかの話を教えてもらいました。印象に残る講義をしてくださる先生もいて、そういった学びを通じて、赤十字って人を助けるんだ、と何となく理解できたんだと思います。

そんな中、トレセン参加者に国際交流事業の案内が来て、マカオから京都に來られた方と交流させてもらうことができました。当時はほとんど英語を理解できていませんでしたが、それでも言語の壁を越えて世界と繋がれるんだと



トレセンでは、2泊3日の日程で野外炊飯やフィールドワーク等のプログラムを実施

―ということが分かったし、同じ「赤十字」を通じて繋がれたということで、自分の活動の幅が広がったと思っています。

トレセンを通じて赤十字に対する興味を持っていただけたわけですね。

―そうです。中学生の頃は赤十字のことばかり考えていました。自分の好きなことを広めたくて、夏休みの自由研究はアンリ・デュナンを題材にしましたし、他にも「ソルフェリーノの思い出」の読書感想文を書いたり、JRCの活動をするためにJRC部のある鳥羽高校に進学して部長をしたり…全ての生活の中心はJRCでしたよね。(笑)

■JRCとトレセン

今のJRCは、学校教育の中で赤十字を啓発しているという形になっています。JRC非加盟校への啓発についてどう思われますか？

寄付に伴う「税制上の優遇措置」や「表彰制度」について

税制上の優遇措置（寄付金控除等）

赤十字の活動資金にご協力いただいた場合は、制度上の優遇措置が受けられます。

個人：確定申告をすることにより、所得税や住民税の控除が受けられます。

（その年の寄付金の合計額が 2,000 円以上必要です。）

法人：寄付金の額を損金に算入することができます。

表 彰 制 度

【日本赤十字社の表彰】

区 分	基 準
銀色有功章	一時又は累計で、20万円以上50万円未満のご協力をいただいた個人・法人
金色有功章	一時又は累計で、50万円以上のご協力をいただいた個人・法人
日本赤十字社社長感謝状	金色有功章受章後、一時又は累計で、50万円以上のご協力をいただいた個人・法人

【国の表彰】

区 分	基 準
厚生労働大臣感謝状	一時又は同一年度内に累計で、100万円以上500万円未満のご協力をいただいた個人、又は300万円以上1,000万円未満のご協力をいただいた法人等
紺綬褒章	一時又は累計で、500万円以上のご協力をいただいた個人、1,000万円以上のご協力をいただいた法人等

遺産の寄付をお考えのみなさまへ

次代に思いを託すため

近年、「自分がこれまでに築いた財産を社会のために役立てたい」「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」といった尊いお申し出が増えています。

日本赤十字社では、その尊い思いに応えるため、遺贈（遺言による寄付）や相続財産などのご寄付を承っております。



**遺産の寄付に
相続税はかかりません** …

遺産を寄付するには …

詳細を記したパンフレットをご用意しております。

日本赤十字社京都府支部へ遺贈された財産及び相続人が寄付した財産は、全額非課税となる税制上の優遇措置が適用されます。

遺言による方法で、財産の受取人を日本赤十字社とし、その使途を日本赤十字社京都府支部の事業と指定することで、京都府における赤十字活動に役立てることができます。

令和2年度 日本赤十字社京都府支部 一般会計決算（歳出）

決算額（千円）		内 訳
災害救護事業費	22,227	災害救護訓練等に係る経費、救護資機材等の整備費、救護看護師の養成費など
社会活動費	54,221	救急法等の講習に係る経費、赤十字奉仕団、青少年赤十字活動費など
国際活動費	1,000	東ティモール救急法普及事業に係る経費
指定事業地方振興費	4,500	災害救護設備費など
地区区分交付金	38,245	地区区分の事務費及び事業費交付金
事業振興費	36,135	社資及び会員募集、広報活動費など
基盤整備交付金・補助金支出	57,413	医療施設基盤整備交付金など
積立金支出	2,841,603	施設整備準備資金積立金など
総務管理費	52,442	諸会議費、事務費など
資産取得及び資産管理費	26,137	庁舎の維持管理費など
本社送納金支出	48,747	本社の国内・国外活動に係る経費
歳 出 合 計	3,182,671	

※千円以下を四捨五入しているため、合計が一致していません。

赤十字を支えるのは、 あなたの思い。

赤十字では、皆様からお寄せいただいた資金を活用し、いのちと健康を守るための様々な活動を展開しています。救いたい。その思いを託されて、わたしたちは駆けつける。災害の最前線で活動する。赤十字を支えるのは、あなたの思いです。



さまざまな方法で赤十字活動資金にご協力いただけます。

■ 郵便局からのお振込み

郵便局に備え付けの振替用紙に
下記事項をご記入のうえお振込ください。

口座番号 01020-6-294

加入者名 日本赤十字社京都府支部

※窓口での手続きには、振込手数料はかかりません。(ATMご利用の場合は、手数料がかかることがあります。)※通信欄に、「赤十字活動資金」とお書きください。また、受領証をご希望の場合は「受領証希望」とお書きいただき、依頼人欄にお名前・ご住所を明記願います。

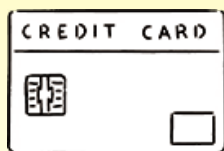
■ 金融機関の口座振替

ご登録いただいた金融機関の口座から希望月に自動引き落としでご寄付いただく方法です。引き落としは毎年・毎月からお選びいただけます。



■ クレジットカード

1 クレジットカード寄付専用
WEBサイトへ



<https://donate.jrc.or.jp>

赤十字 クレジット 申し込み

2 寄付お申込みフォームにて
必要事項を入力

寄付申し込み入力フォーム

ご寄付のつがいみち 赤十字活動資金
Support for the Japanese Red Cross Society

災害時の医療救護体制の強化や新型コロナウイルスなどの
防災・減災の普及啓発やボランティアの育成など、日本赤十字社の
皆さまからの継続的なご支援に支えられて

3 皆さまの思いは赤十字活動に



※寄付についてご不明な点がある場合は、当支部組織振興課(075-541-9326)までお問い合わせください。

活動資金へのご協力ありがとうございました

日本赤十字社京都府支部の活動は、皆様のご支援により支えられています。
令和2年10月から令和3年3月の間に、10万円以上のご寄付をいただき、掲載についてご了承いただいた会員の方々をご紹介します。

●北区

小林 学 様

●左京区

井元 喜一 様

出竿 賢治 様

三宅 秀典 様

●中京区

株式会社京都メディカルクラブ 様

●東山区

松繁 知洋 様

●山科区

紀田 貢 様

●下京区

一般社団法人生命保険協会 様

ワタキューセイモア株式会社 様

●南区

京都ケアサービス株式会社 様

●右京区

株式会社 浄美社 様

●西京区

土田 道夫 様

中原 昭 様

エステックジャパン株式会社 様

●伏見区

株式会社ヤマモトホールディングス 様

サムコ株式会社 様

●福知山市

福知山BGM福祉サービス 様

山下 裕 様

●宮津市

天橋立ワイン株式会社 様

河嶋 義孝 様

●舞鶴市

J P パートナーズ株式会社 様

●城陽市

大喜多 剛 様

●大阪府

杉本 裕香 様

(地区町村順・五十音順)